

JKJ0 東北地区審判講習会及び第7回東北交流大会のお知らせ

JKJ0 審判講習会及び第7回東北交流大会を、下記の通り開催いたします。

フルコンタクト空手のジュニア大会全盛の今日、ルールの統一や審判技術向上を図り、公平でクリーンな大会開催を目指し、現在全国 250 を超える団体が JKJ0 全日本空手審判機構の審判講習会に参加しております。JKJ0 参加・加盟団体のみに限らず、流派・団体の交流と相互協力を目的として開催しますので、受講及び選手の参加出場をよろしくお願いいたします。

尚、審判講習会はジュニア選手による大会形式のトナメントに沿って実践的に行うため、交流大会はその一環となるものです。審判講習を併用して行うため、試合進行中にルール・判定基準・動作などの確認を行い、審判員及び選手への注意・指導が行われる場合がありますので、ご協力をお願いいたします。

近年の大会では初級クラスであっても団体によって級に対する基準が違い、初級クラスでもなかなか勝てない傾向にあります。通常大会へのステップとして、交流大会への参加をお勧めいたします。

また、友好団体へのお声掛けをして頂き、JKJ0 の趣旨を広める活動も併せてお願い申し上げます。

記

開催日	平成 29 年 3 月 19 日 (日)
会場	秋田県仙北市 角館武道館 〒014-0334 仙北市角館町表町上丁 6 ☎0187-54-1110
時間	9:30 選手・講習会受講者 集合 / 10:00 講習・交流大会 試合開始
参加資格	審判講習 受講者 (高校生以上で空手修行 4 級以上の者) 交流大会 無級～1 級まで
参加費用	審判講習 審判員: 無料 (但し、交流大会へ出場選手がない場合、2000 円/団体) ※ライセンス受験・更新の方は登録料として 1,000 円 交流大会 3,000 円 賞状&メダル (入賞者)・参加賞 (JKJ0 機関紙オス!カラテ!)
服装等	審判講習 JKJ0 シャツ (白シャツ可)・紺または黒のスラックス・JKJ0 ネクタイ ライセンス証 (ライセンス取得者)・筆記用具 ※笛は各自持参して下さい 交流大会 空手着・サポーター類 (個人所有のヘッドギアは JKJ0 指定の物に限り使用可)
クラス	幼年の部 (初級/中級・男女混合) 小学 1～2 年生・小学 3～4 年生・5～6 年生の部 (初級/中級・男女別) 中学生男子の部・中学生女子の部 (初級/中級) 一般男子・一般女子・シニアの部 (初級/中級) ※選手は必ずスポーツ保険に加入してください。

申込締切 **平成 29 年 2 月 6 日 (月) 必着** ※各団体まとめてお送りください。

申込先 日本空手道 至真会館内 JKJ0 東北地区事務局
〒999-3511 山形県西村山郡河北町谷地辛 2093
TEL 0237-72-2901 / FAX 0237-72-2900

JKJO全日本空手審判機構 審判講習会 参加申込書 (FAX可)

●開催内容(講習会開催者入力欄)

地区名(○をして下さい)	北海道・東北・甲信越・北陸・関東・中部・関西・中国・四国・九州			
講習会開催者名				
問い合わせ先	TEL		FAX	
講習会日	西暦	年	月	日()
参加申込期限	西暦	年	月	日()
				会場

●参加申込明細(参加者(道場)入力・記載欄)

道場名		代表者名	
連絡先	TEL	FAX	

●参加者名簿(参加道場入力・記載)

- * 今回受験の欄に記載した方は、別途「受験申込書」と、ライセンス登録料1,000円を期限までに提出して下さい。受験申込書が事前に提出されていないと、当日受験できませんのでご注意ください。
- * まだライセンスを取得していない方は、現級欄に「講習1回」または「講習2回」と記載して下さい。講習3回目でE級受験となります。また初参加の方は、講習欄に「初参加」と記入して下さい。
- * ライセンス獲得者は、取得後1回講習を受けなければ次級受験ができません。次級受験は前回受験から4か月期間を置くこと。
- * 検定結果不合格の場合は現級更新扱いとなります。再受験は前回受験から4か月期間を置くこと。
- * 再受験の方はライセンス取得日欄に「●年●月●日●級不合格」と記入して下さい。例を参照。
- * ライセンス有効期間は2年です。昇級を希望しない方も失効前に要更新受験。

No	フリガナ 氏名	年齢	空手 段級	現級 (ライセンス)	ライセンス 取得日	ライセンス取得後 の講習日	今回 講習の方	今回受験 の方	ライセンス 登録料
	(例) 初参加の方	30	4級	—	—	—	初参加		
	(例) 講習2回目の方	18	2級	講習1回	—	—	講習2回目		
	(例) 講習3回目(E級受験)の方	25	初段	講習2回	—	—		E	1,000円
	(例) D級受験の方	20	4級	E	2009/1/31	2009/7/31		D	1,000円
	(例) D級取得後講習受講の方	40	三段	D	2009/1/31	—	○		
	(例) B級再受験の方	25	初段	C	2009/1/31 B級不合格	2009/7/31		B	1,000円
	(例) A級更新受験の方	50	参段	A	2008/3/1	2009/1/31		A(更新)	1,000円
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

合計

円

JKJO全日本空手審判機構 公認審判員受験申込書

全日本空手審判機構公認審判員規程に則り、下記の通りライセンス受験を申し込みます。

JKJO公認審判員規程別1
受験者→講習会開催者→JKJO本部

登録料 1,000円

受験日	西暦 年 月 日 ()	会場名	
開催地区	北海道 ・ 東北 ・ 甲信越 ・ 北陸 ・ 関東 ・ 中部 ・ 関西 ・ 中国 ・ 四国 ・ 九州		

* S級(準S級)受験の方はS級専用申込書にてお申込みください。* 前回受験で不合格となった方は4か月期間を置いてから再受験してください

受験級	A B C D E 級 (○を付す)	受験区分	新規 ・ 再受験 ・ 更新 (○を付す)
登録No	—	所属道場	
ふりがな		生年月日	西暦 年 月 日
氏名		性別	男 ・ 女
		年齢	※記入必須 歳

カラー写真1枚
3×4cm・上半身
正装・脱帽
審判シャツ・JKJO裃タイ着用
裏面に名前記入

写真の貼り付けが無い場合
ライセンス発行が出来ません
ので、次回再受験となります

住所	(〒 都道府県)
電話番号	— —
メール	
職業	空手段位 ※記入必須 級・段
空手修行歴	年 月
現ライセンス	A B C D E 級 (○を付す)
現ライセンス取得年月日	西暦 年 月 日
現ライセンス認定検定員名	(審判認定証参照)
現ライセンス取得後の講習会参加日	※記入必須 * E級受験の場合は、1回目と2回目の講習日を記入
西暦 年 月 日	西暦 年 月 日
指定大会・公認大会審判経験	
西暦 年 月 日	大会名 主審 ・ 副審
西暦 年 月 日	大会名 主審 ・ 副審
西暦 年 月 日	大会名 主審 ・ 副審
B級以上受験者：救急セミナー参加経験	※B級以上は3年に一度受講義務になります。未受講の方は受験・更新できません。
※B級以上記入必須	西暦 年 月 日 場所
S級受験者：検定員補助経験	
西暦 年 月 日	場所
西暦 年 月 日	場所
備考	*道場の移籍、改名、住所変更等が生じた場合、記入してください

(以下、検定員記入欄)

JKJO全日本空手審判機構 公認審判員試験 合否判定

※実技試験検定員が3名以上いる場合、初めの2名のお名前がライセンス証に印字されます。

実技試験	検定員名	1	2	補助検定員名 (A級)	
※減点方式のため、問題が無ければ「5」に○を付けてください(例：ライセンス不携帯の場合減点1で「4」に○)					
服装 (審判認定証の携行・ネクタイ・シャツ・ズボン・頭髪の色・過度な化粧・装飾品)		5	4	3	2 1
入退場時の動作		5	4	3	2 1
反則、有効技に対する反応 (アクシデントに対する対応も含む)		5	4	3	2 1
判定時の動作(笛・旗)・姿勢(副審席・主審の場合立ち位置)		5	4	3	2 1
主審・副審間の連携 (試合中反則選手への警告等)		5	4	3	2 1
判定の正確性		5	4	3	2 1
※筆記試験/90点以上合格 ※実技試験/A級27点以上・B級26点以上・C級25点以上合格					
筆記試験	立会検定員名	点数	点	実技試験	点
				総合評価	合格・不合格
特記事項					

右の公認審判員受験者は

公認審判員規程の要約

- ライセンス受験する場合、この受験申込書とライセンス登録料を締切日までに講習会開催者に提出しないと受験できない。
- 講習会当日、公認審判認定証を携行しないと、不合格となる。審判員は、大会、講習会で常に「公認審判認定証」を携行すること。
- ライセンスの有効期限は **2年間** です。失効する前に必ず更新受験を行うこと。
- 各ライセンス受験資格と試験内容
S級：A級取得後、公認大会審判経験2回以上、講習会において検定員の補助業務経験2回以上、所属地区の検定員の推薦を受けたものが受験できる。筆記試験と実技試験。
A級・B級：筆記試験と実技試験
C級：空手修行黒帯以上。但し、所属道場責任者の推薦がある場合空手修行5年以上か2級以上の者も受験可。筆記試験と実技試験。
D級・E級：高校生以上かつ4級以上のものが受験資格を有するが、所属道場責任者の推薦がある場合その限りでない。実技試験。
- ライセンス取得後、次級受験には、1回の講習会受講が必要。但し、E級受験は講習会を2回受講すること。
- ライセンス受験で不合格となった場合、再受験は前回受験から4か月期間を置くこと。
- D級以上の審判員は年に2回以上、公認大会で審判経験を積むこと。
- B級以上の審判員は救急士による救急救命セミナーを3年に1度受講すること。